

1. 基本情報

評価対象年度 (令和元年度)

施策コード	412		施策名	道路ネットワークと交通環境の整備				
将来像	4	豊かな自然と調和した住みやすく活気あるまち(「基盤づくり」の分野)						
まちづくりの基本目標	41	快適で住みやすいまち						
主担当部	都市整備部		主担当課	道路交通課		主担当係		
担当者	南澤 志公		役職	都市整備部長		内線	360	
関係課	企画課	まちづくり課	教育総務課					

2. 施策の方向

10年後の姿	快適で安全な都市基盤となる道路の整備と、鉄道やバスなどの交通環境の向上が図られ、誰もが市内外を快適・安全に移動しています。							
施策の方向性	1	快適で安全な道路環境をつくります						
	2	快適で安全な交通環境をつくります						
	3	交通安全意識の普及・啓発を推進します						

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

No.	事務事業名	実行計画	施策の方向性	担当課	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度予算	
0102010801	計画行財政推進事業	対象	2	企画課	6,229	6,724	19,822	1
0108020202	道路用地購入事業	対象	1	まちづくり課	54,527	50,406	34,922	2
0108020403	歩道用地購入事業	対象	1	まちづくり課	33,510	75,194	8,554	3
0108030301	都市計画街路事業	対象	1	まちづくり課	94,480	166,993	511,702	4
0102011001	交通安全事業	対象	1	道路交通課	2,123	2,053	3,140	5
0102011003	コミュニティバス事業	対象	2	道路交通課	20,857	26,193	22,256	6
0102011005	防犯灯維持管理事業		2	道路交通課	34,335	35,735	36,100	7
0108010103	道路台帳整備事業		1,2,3	道路交通課	5,713	9,556	6,500	8
0108010104	道路管理事務事業		1	道路交通課	4,507	4,961	2,995	9
0108020101	道路維持補修事業	対象	1	道路交通課	68,454	122,441	48,741	10
0108020102	駅前広場維持事業		1	道路交通課	2,336	2,680	3,257	11
0108020201	道路整備事業	対象	1	道路交通課	183,128	146,374	168,263	12
0108020402	交通安全施設整備事業	対象	1	道路交通課	4,158	49,882	36,950	13
0108020404	放置自転車対策事業		2	道路交通課	13,465	13,864	14,399	14
0108020405	地下駐輪場運営管理事業	対象	2	道路交通課	9,326	8,714	7,053	15
0108020406	有料駐輪場運営管理事業	対象	2	道路交通課	7,101	6,296	6,143	16
0701010101	駐車場事業		2	道路交通課	19,859	40,034	46,000	17
総事業費(施策の合計)					564,108	768,100	976,797	

4. まちづくり指標

指標情報				平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和4年度	令和7年度	
①	名称	周囲の道路を安心して通行することできると思う人の割合		目標値	—	—	36.0	37.0	40.0
	説明	単位	%	実績値	—	33.4(※)			
	抽出方法	市政世論調査(平成29、令和2、5、8年度実施)		達成率	—	—			
②	名称	市内の道路は車がスムーズに移動できていると思う人の割合		目標値	—	—	38.0	39.0	43.0
	説明	単位	%	実績値	—	36.1(※)			
	抽出方法	市政世論調査(平成29、令和2、5、8年度実施)		達成率	—	—			
③	名称	交通ルールやマナーを守っている人の割合		目標値	—	—	88.0	89.0	92.0
	説明	単位	%	実績値	—	86.2(※)			
	抽出方法	市政世論調査(平成29、令和2、5、8年度実施)		達成率	—	—			

※平成29年度実績値を記載

5. 評価(令和元年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果 〔3. 構成事業の 状況〕〔4. まちづ くり指標〕に対す る評価	総合評価 (成果、投入財源等を 総合的に評価)	維持
<p>構成事業の状況は、全ての事業が施策の方向性の1から3の目標達成の手段として寄与しており、「10年後の姿」を実現するために適当な事務事業が展開されている。</p> <p>市は、住環境の整備に関する条例等をもとに開発事業主を指導、誘導し、安全性と円滑性など生活環境に配慮した生活道路の整備を進めている。また、現在、整備を進めている3つの都市計画道路によって、安全で機能的な幹線道路ネットワーク整備が期待できる。さらに、これまで計画的に進めてきた交通安全施設整備事業や道路拡幅事業によって、各所で課題とされてきた安全性を高めてきた。</p> <p>一方、大型車輛の通行に伴う振動や騒音など既存道路の老朽化に伴う問題や、主要道路に歩道の未整備区間が残されていることなどの問題に対して十分に対応できているとはいえない。また、交通不便地域の解消に向けたコミュニティバス事業は利用者の評価を受けているが、市北部地域の一部には公共交通へのアクセスに課題があり、対応が求められている。</p>		

※順調「10年後の姿」達成に向け、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している
維持「10年後の姿」達成に向け、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある
停滞「10年後の姿」達成に向け、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

外部要因	状況	外部要因に対する評価	評価理由
市民ニーズ の状況	市民満足度調査では重要度と満足度がともに高く評価されている。また、市道整備については、生活道路の拡幅や歩道の整備が求められている。	3. 施策の必要性を高める	市民のニーズに応えるため取り組みを強化する必要がある。
将来人口 の推移	少子高齢化が進展する。	3. 施策の必要性を高める	高齢者に向けた交通安全対策の向上が求められる。
民間企業・NPO ・市民の動向	自転車と歩行者の接触事故による高額賠償の判決や、高齢者による交通ルールを無視した運転による事故が多くなっている。	3. 施策の必要性を高める	自転車保険制度の普及啓発や高齢者人口の増加に伴う交通安全対策の向上が求められる。
その他	12号線の大泉学園町以西の延伸に向け、事業性の確保に必要な沿線開発の取り組み、関係地方公共団体が協調して事業主体を含めた事業計画を検討することが求められた。	2. 施策遂行に不利 3. 施策の必要性を高める	12号線延伸の確実性がない中で沿線開発が求められている。一方事業性に課題があるとされているため、都営による整備、運営の可能性は低い。事業の方向性を判断するためにも調査研究の熟度を高める必要がある。

7. 施策を進める上での課題

①	施策を進める 上での課題	安全性、機能性の高い幹線道路ネットワークの整備と同時に、安全性と快適性を備えた生活道路の整備が求められている。		
	関連する 事務事業名	都市計画街路事業	道路整備事業	道路維持補修事業
	現在の取組 状況	市内幹線道路ネットワークの安全性、機能性の向上を図るため、東3・4・17号線、東3・4・26号線、東3・4・16号線の整備を推進している。また、市道改良工事、補修工事を定めた優先順位に基づきながら実施している。更に橋梁長寿命化計画に基づく橋梁改修を実施している。		
	令和3年度 以降の取組	引き続き、都市計画道路の整備を推進する。また、市役所新庁舎整備の進捗に合わせた市道0106号線等整備工事や市道0210号線歩道設置など、道路改良及び、交通安全施設の計画的な整備を進める。橋梁については橋梁長寿命化計画に基づき、関越高速道を跨ぐ2橋及びベデストリアンデッキの改修工事を実施する。		
②	施策を進める 上での課題	清瀬駅北口周辺の交通環境の維持及び、駅周辺地域の活性化を図るため、クレア駐車場の長寿命化を図る必要がある。		
	関連する 事務事業名	駐車場事業		
	現在の取組 状況	平成7年度に供用開始以来、長寿命化を視野に入れた改修工事を行っていない。現在、施設の老朽化に伴う様々な課題が出ている。		
	令和3年度 以降の取組	長寿命化を図るために必要な対策を検討の上、計画的に対策を講じる。		
③	施策を進める 上での課題	都市高速鉄道12号線延伸促進の取組みについては、事業スキームの問題など検討の熟度を高める必要がある。		
	関連する 事務事業名	計画行財政推進事業		
	現在の取組 状況	都市高速鉄道12号線延伸促進協議会において平成30年度に、今後調査研究すべき課題の整理を行った。令和元年度から、整理した課題について検討を行っている。		
	令和3年度 以降の取組	令和2年度に引き続き、整理した課題の検討を進める必要がある。		